

専門実践教育訓練明示書 (岐阜保健大学医療専門学校)

講座の名称	柔道整復科			
実施方法	① 通学 (昼間)			
指定講座番号(15桁)	2112002	—	2420011	— 5
講座の創設年月日	専門実践教育訓練給付金 対象講座の指定期間	過去一 年の講 座実績	入講者数(8人)	修了者数 (9人)
	平成 16年 4月 1日	令和 9年 9月 30日まで		
訓練期間	36ヶ月		総訓練時間	2,760時間
1. 教育訓練目標				
①取得目標とする資格の名称、目標レベル	<ul style="list-style-type: none"> ■ 業務独占資格・名称独占資格 (柔道整復師) □ 職業実践専門課程 () □ キャリア形成促進プログラム () □ 専門職大学院 () □ 職業実践力育成プログラム () □ 情報通信技術関係資格 () □ 第四次産業革命スキル習得講座 () □ 専門職大学、専門職短期大学、専門職学科 () 			
	教育訓練を通じて取得を目指す上記以外の資格等 ・専門士			
②①に係る資格・試験等の実施機関名称	厚生労働省			
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等	本校の柔道整復科(厚生労働大臣認定養成施設)に3年以上在籍し、卒業(見込みを含む)した者			
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されている業界と活用状況	<ul style="list-style-type: none"> ・医療分野(接骨院・病院・クリニック等) ・スポーツ分野(スポーツトレーナー、スポーツジム、スポーツチーム等) ・介護福祉分野(在宅訪問医療、介護福祉施設、デイサービス施設等) ・独立開業(接骨院等) 			
2. 教育訓練の内容				
教科 (カリキュラム)	時間	使用教材名		
科学的思考の基盤 人間と生活	210	配布プリント等使用		
人体の構造と機能	270	「解剖学」「生理学」「運動学」		
疾病と傷害	210	「病理学概論」「一般臨床医学」「外科学概論」「リハビリテーション医学」		
柔道整復術の適応	60	「整形外科学」		
保健医療福祉と柔道整復の理念	255	「衛生学・公衆衛生学」「関係法規」「社会保障制度と柔道整復師の職業倫理」		
社会保障制度	15	「社会保障制度と柔道整復師の職業倫理」		
基礎柔道整復学	420	「柔道整復学理論編」		
臨床柔道整復学	570	「柔道整復学理論編」「柔道整復学実技編」		
柔道整復実技	570	「包帯固定学」「柔道整復学実技編」		
臨床実習	180	特になし		
3. 受講者となるための要件 (この講座を受講するために必要とされている条件など)				
①受講するに当たって必要な実務経験等	特になし			
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準	<ul style="list-style-type: none"> ・高等学校又は中等教育学校を卒業した者 ・法令で定める上記と同等以上の資格を有する者 			
③その他	特になし			

〔特記事項〕

専門実践教育訓練明示書 (岐阜保健大学医療専門学校)

4. 教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況

(1) 資格取得状況

① 前年度の修了者数	9	人			
② ①に係る教育訓練の入講者数	9	人			
③ ②のうち目標資格の受験者数	9	人	受験率(③/②)	100.0	%
④ ③のうち合格者数	6	人	合格率(④/③)	66.6	%
⑤ ①(修了者数)のうち就職者数 ※1	6	人			
⑥ ①(修了者数)のうち在職者数 ※2	0	人			

※1 前年度の修了者のうち、受講開始時に職に就いていなかった者で修了後に就職した者。

この場合、就職したとは、臨時的な仕事に就職した者は含まない。

※2 受講開始時に既に職に就いていた者で、卒業後も引き続きその職にある者及び受講開始時に既に職に就いている者で、修了後に別の職に転職した者。

(2) 受講修了者による講座の評価等

① 回答者総数		9	人		
② 受講開始時の就業状況等	1 正社員	0	人		
	2 非正社員、派遣社員	0	人		
	3 その他の就業(自営業等)	0	人		
	4 非就業	9	人	②B: 非就業者計	
③ 就業中の受講者による講座の評価	1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ	0	人	③の回答数合計 ※②Aと同数(又はそれ以下)	
	2 配置転換等により希望の業務に従事できる	0	人		
	3 社内外の評価が高まる	0	人		
	4 円滑な転職に役立つ	0	人		
	5 趣味・教養に役立つ	0	人		
	6 その他の効果	0	人		
	7 特に効果はない	0	人		0
④ 就業していない受講者による講座の評価	1 早期に就職できる	0	人	④の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	
	2 希望の職種・業界で就職できる	9	人		
	3 より良い条件(賃金等)で就職できる	0	人		
	4 趣味・教養に役立つ	0	人		
	5 その他の効果	0	人		
	6 特に効果はない	0	人		9
⑤ 受講者の就業状況	1 受講中又は受講修了後3か月以内に就職した	6	人	⑤の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	
	2 受講修了後3～6か月以内に就職した	0	人		
	3 受講修了後6～12か月以内に就職した	0	人		
	4 就職していない	3	人		9
⑥ 講座の全体評価	1 大変満足	3	人	⑥の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下)	
	2 おおむね満足	4	人		
	3 どちらとも言えない	2	人		
	4 やや不満	0	人		
	5 大いに不満	0	人		9

(3) 受講者、受給者の修了後の状況(就職等の状況、受講修了者による教育訓練への評価状況、受講後の職務内容変化等の処遇改善の状況、一定期間内でのキャリアアップ成果やその事例、在籍・採用企業の側の評価等)

・国家試験合格者は全員資格を生かした職種へ就職している。

・国家試験不合格者も全員資格を生かした職種に非正規で就職し、次回の国家試験を受験する予定である。

5. 教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法

1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法	期末ごとに実技試験及び学科試験を実施し、技能や知識の到達度を把握・測定している。技能・知識とも100点満点で60点以上を合格とし、不合格者には補講や再試を行っている。
(通信制講座の場合) スクーリングの実施場所、時期、期間・回数	

